２０２２年度事業報告

Ⅰ．当協会の概要

２０２２年度末における当協会の概況は次のとおりである。(2023 年 3 月 31 日現在)

１．会　員

法人正会員	１０８社（１社増）
法人賛助会員	８社（増減無し）
個人賛助会員	１５名（増減無し）

２．役　員

会　　長	１名
副 会 長	３名
専務理事	１名
理　　事	２２名
監　　事	２名

３．事務局

事務局員	６名

Ⅱ．２０２２年度　ＪＬＰＡ活動報告

ＬＰガス設備関連の安全性を確保するため、プラント技術、検査技術の向上を図り、保安・保全の強化に努めた。２０２２年度ＪＬＰＡ基本方針の具体的活動は各委員会にて実施した。

１．企画委員会の活動報告

⑴ ２０２２年度定時総会表彰受賞者の選出
⑵ ２０２２度 企画委員会活動報告及び２０２３年度企画委員会事業計画作成
⑶ 研修会・講習会の実施
⑷ 機関誌、ホームページによる協会情報の提供

１－１．事業推進部会

持続可能な事業運営の確立

① 保安に関する講習会の開催

受講者増を図るため、２０２２年度より受講者の皆様によりわかりやすい､役に立つ講習会・セミナーの内容を目指し、それぞれの種別・棲み分けを行った。

春の『ＬＰガス製造事業所向け「保安管理研修会」』は、保安計画や中計などの立案を行う保安管理責任者向け、秋の『ＬＰガス製造事業所向け「保安実務講習会」』は、従来対象の充填所に加え、工業用消費事業所も念頭に、設備の保守保全、操作にかかわる現場実務者向け、夏の『ＬＰガス販売事業者向け「バルク供給セミナー」』は､技術委員会・バルク供給WGに依頼し、従来のバルク貯槽の保守保安に加え、貯槽本体の腐食事例に焦点を当てるなど、3 つの講義を依頼し、講習会事業全体のコンテンツの整理と創意工夫を行い、

「Ｋｎｏｗ　Ｗｈｙ」をコンセプトとしながらも、抜本的に講習会内容を刷新した。

特に秋の「保安実務講習会」では、実務者が困っていることや今後困る可能性のあることに応じられるよう、新しい切り口の講義を企画。講義テーマは「思い出そう。困ったときの相談機関」とし、２本立てで、高圧ガス保安協会 総合研究所様が実施している取組や事例の紹介及び、静岡の大静高圧株式会社様の不明容器のくず化処理の取組や事例の紹介を行った。

※秋開催より、名称を「研修会」から「講習会」に変更。当協会の実施している内容に合わせるため。

今年度の講義内容は以下の通り。

①製造事業所向け

	保安管理講習会（春） Ｗｅｂ講習会として実施		**保安実務講習会（秋）** Ｗｅｂ講習会として実施
1	高圧ガス保安行政の最新動向 （経済産業省　産業保安グループ 高圧ガス保安室）	1	日常点検　（充填所　・　工業用消費事業所） （伊丹産業検査株式会社） ※充填所、工業用消費事業所の２種類
2	過去の事故事例に学ぶ保安管理の重要性 （日本ＬＰガス団体協議会）	2	ＬＰガスの品質管理と保安管理の関連性 （日本ＬＰガス団体協議会）
3	ＬＰガス製造設備の技術基準について （JLPA 事業推進部会）	3	ＬＰガスプラント機器　（ﾎﾟﾝﾌﾟ・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ・ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞｱｰﾑ）　の構造と維持管理　（株式会社コスモ技研）
4	カーボンニュートラル（ＣＮ）を巡る国内外の動向とＬＰガスの対応 （日本ＬＰガス協会）	4	思い出そう。困った時の相談機関 （ＫＨＫ 総合研究所、大静高圧株式会社）

②販売事業者向け

	ＬＰガスバルク供給のためのセミナー Ｗｅｂ講習会として実施
1	ＬＰガス保安行政の最新動向 （経済産業省　産業保安グループ　ガス安全室）
2	バルク貯槽本体の維持管理 （JLPA　技術委員会）
3	バルク貯槽用附属機器の維持管理について （JLPA　技術委員会）
4	バルク貯槽入替事例と課題について （JLPA　技術委員会）

(2)非破壊試験講習の実施

非破壊試験技術者資格取得のためのレベル１及びレベル２シラバス対応講習会を実施した。また、4 月、7 月、10 月、1 月にレベル１・２実技講習会を実施した。

(3)検査事業者の検査員向け講習会

2 月に高圧ガスプラント検査技術講習会（A種・検査員資格新規）及び 12 月に高圧ガスプラント検査技術講習会（A種・検査員資格更新）をインターネット配信によるＷｅｂ講習会として実施した。

１－２．講習会の開催結果

(1)製造事業者、販売事業者向け

講習会名称	場所	開催日	参加者数
ＬＰガス製造事業所向け「保安管理研修会」	Ｗｅｂ講習会	6 月 14 日(火)	ｾｯｼｮﾝ１　午前：94 名 ｾｯｼｮﾝ２　午後：88 名
		6 月 15 日(水)	ｾｯｼｮﾝ３　午前：55 名 ｾｯｼｮﾝ４　午後：54 名
		6 月 16 日(木)	ｾｯｼｮﾝ５　午前：80 名 ｾｯｼｮﾝ６　午後：74 名

参加者 252 名(445 ｾｯｼｮﾝ)／昨年度参加者 274 名（430 ｾｯｼｮﾝ）

講習会名称	場所	開催日	参加者数
ＬＰガスバルク供給のためのセミナー	Ｗｅｂ講習会	8 月 23 日(火)	ｾｯｼｮﾝ１　午前：75 名 ｾｯｼｮﾝ２　午後：77 名
		8 月 24 日(水)	ｾｯｼｮﾝ３　午前：38 名 ｾｯｼｮﾝ４　午後：35 名
		8 月 25 日(木)	ｾｯｼｮﾝ５　午前：35 名 ｾｯｼｮﾝ６　午後：50 名

参加者 174 名(310 ｾｯｼｮﾝ)／昨年度参加者 185 名（299 ｾｯｼｮﾝ）

講習会名称	場所	開催日	参加者数
ＬＰガス製造事業所向け「保安実務講習会」	Ｗｅｂ講習会	10 月 12 日(水)	ｾｯｼｮﾝ１　午前：121 名 ｾｯｼｮﾝ２　午後：　96 名
		10 月 13 日(木)	ｾｯｼｮﾝ３　午前：　59 名 ｾｯｼｮﾝ４　午後：　51 名
		10 月 14 日(金)	ｾｯｼｮﾝ５　午前：　43 名 ｾｯｼｮﾝ６　午後：　40 名

参加者 246 名(410 ｾｯｼｮﾝ)／昨年度参加者 231 名（378 ｾｯｼｮﾝ）

(2)非破壊試験技術者資格受験者向け

講習会名称	場所	開催日	参加者数（昨年）
訓練用シラバス対応講習会 （レベル１） （講義・実習）	川崎	6 月 20 日(月) ～24 日(金)	ＭＹ１：28 名(12 名) ＰＤ１：28 名(21 名) ＵＭ１：25 名(17 名) 高圧ｶﾞｽﾌﾟﾗﾝﾄﾚﾍﾞﾙ１ ：34 名(24 名)
実技講習会 （レベル１、レベル２）	川崎	4 月 12 日(火)	ＭＹ１： 0 名(12 名) ＰＤ１： 0 名(16 名) ＵＭ１： 4 名(15 名) ＭＹ２：10 名(9 名) ＰＤ２：14 名(8 名)
実技講習会 （レベル１、レベル２）	川崎	7 月 13 日(水)	ＭＹ１： 0 名(3 名) ＰＤ１： 1 名(3 名) ＵＭ１： 2 名(2 名) ＭＹ２：12 名(1 名) ＰＤ２：14 名(4 名)
実技講習会 （レベル１、レベル２）	川崎	10 月 18 日(火)	ＭＹ１：19 名(13 名) ＰＤ１：23 名(20 名) ＵＭ１：18 名(18 名) ＭＹ２： 7 名(2 名) ＰＤ２： 5 名(9 名)
訓練用シラバス対応講習会 （レベル２） （講義・実習）	川崎	12 月 12 日(月)～ 16 日(金)	ＭＹ２： 3 名(10 名) ＰＤ２： 7 名(14 名) 高圧ｶﾞｽﾌﾟﾗﾝﾄﾚﾍﾞﾙ２ ： 7 名(14 名)
実技講習会 （レベル１、レベル２）	川崎	2023 年 1 月 10 日(火)	ＭＹ１： 7 名(3 名) ＰＤ１：12 名(3 名) ＵＭ１：13 名(4 名) ＭＹ２： 5 名(5 名) ＰＤ２： 6 名(8 名)

(3)高圧ガスプラント検査技術講習会

講習会名称	場所	開催日	参加者数（昨年）
Ａ種・検査員資格更新	Ｗｅｂ 講習会	12 月 2 日(金)	64 名（86 名）
	Ｗｅｂ 講習会	12 月 6 日(火)	48 名（61 名）
Ａ種・検査員資格新規	Ｗｅｂ 講習会	2023 年 2 月 21 日(火) ～22 日(水)2 日間	52 名（50 名）

１－３．情報部会

新型コロナウイルス拡散防止対策から、Ｗｅｂ会議を主体とした活動に制限されているが、当初計画通り進んだ。詳細を以下に述べる。

(1) ＪＬＰＡ機関誌「ＬＰガスプラント」へ「現場の安全シリーズ」記事を順次掲載した。
春季号(2022 年 4 月 20 日発刊) 第 8 回　ガス保安検査(株)　殿
定時総会記念号(2022 年 7 月 20 日発刊) 第 9 回　岩谷液化ガスターミナル(株)　殿
秋季号 (2022 年 10 月 20 日発刊) 第 10 回　(株)サイサン　殿
新年号 (2023 年 1 月 20 日発刊)第 11 回　(株)ガス検　殿

(2) 機関誌記事の充実として、連載コラムの掲載を開始した。

(3) 機関誌表紙デザイン応募作品選考及び表紙刷新
２０２３年新年号から表紙を飾る新しい表紙デザイン (イラスト) を昨年度の理事会で応募の協力を依頼し、２０２２年新年号 (2022 年 1 月 20 日発行) から一般に募集し２０２２年６月末に締め切った。応募は 4 人からあり、いずれの作品もレベルが高く、かつ個性的で甲乙つけ難い作品であったが、選考の結果以下とした。

会長賞　佐々木　陽　様 (株式会社　石井鐵工所)
優秀賞　安藝　玲来　様 (株式会社　石井鐵工所)
優秀賞　斉藤　　恵　様 (株式会社　石井鐵工所)
優秀賞　横瀬　知圭　様 (株式会社　石井鐵工所)

また、会長賞作品を基に、機関誌がこれから更に目を引くようにし、協会活動に興味を持っていただくなどを目的に題字廻りを含む表紙全体を機関誌創刊６０年にあたる２０２３年新年号 (Vol.60 No.1) から新しいデザインにした。

(4) 来年度からの新シリーズ募集
理事会で寄稿の協力をお願いした。先ずは、当部会企業が執筆することとした。

(5) 機関誌の購読者増加を図るため、大規模充填所を有する事業所へ配布し、１社の購読申込を得た。

(6) ＪＬＰＡホームページの拡充
一般向けページの「各種情報」に２０２０年から機関誌に掲載している「現場の安全シリーズ」記事を引き続き転載した。また、ホームページの見易さや操作性の向上のため、プレスリリースページ追加、各種情報ページの部分改修を実施した。

２．技術委員会の活動報告

２－１．活動内容

(1) ＪＬＰＡ基準の見直し

基　　準　　名		2021 年度	2022 年度実績	2023 年度計画
JLPA001	一般基準	一、二次見直し終了	最終見直し終了	―
JLPA101	工業用消費設備基準	一次見直し中	一次見直し中	一、二次見直し
JLPA102	スタンド基準	未着手	未着手	一、二次見直し
JLPA201	球形貯槽基準	一次見直し終了	**二次見直し終了**	最終校正
JLPA202	横置円筒形貯槽基準	終了	**二次見直し終了**	最終校正
JLPA202-2	横置円筒地下貯槽基準	終了	**二次見直し終了**	最終校正
JLPA201、202、202-2 共通項目（設計荷重等）			**一次検討終了**	二次検討
JLPA202-3	バルク貯槽基準	一次見直し終了	**二次見直し終了（バルク供給ＷＧ）**	最終校正
JLPA206	バルブ基準	未着手	未着手	一、二次見直し
JLPA207	配管基準	一次見直し終了	**二次見直し終了**	最終校正
JLPA208	ストレーナ基準	未着手	未着手	一、二次見直し
JLPA209	金属ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎｰｽ基準	未着手	未着手	一、二次見直し
JLPA210	ﾎﾟﾝﾌﾟ・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ基準	一次見直し終了（一部図残）	一部図面残	二次見直し
JLPA211	蒸発器基準	一次見直し終了	**二次見直し終了（蒸発器ＷＧ）**	最終校正
JLPA213	圧力調整器基準	一次見直し終了	二次見直し未着手	最終校正
JLPA301	計装基準	一次見直し一部終了（ｶﾞｽ漏れ検知設備）	未着手（ｶﾞｽ漏れ検知設備以外）	一、二次見直し（ｶﾞｽ漏れ検知設備以外）
JLPA302	電気基準	一次見直し中	一次見直し中	一、二次見直し
JLPA303	防消火設備等基準	一次見直し中	一次見直し中	一、二次見直し
JLPA304	防消火設備維持基準	一次見直し中	一次見直し中	一、二次見直し
JLPA305	障壁･防火壁基準	終了	**二次見直し終了**	最終校正

※次の指針等は現在実施中のＪＬＰＡ基準見直し後に実施する。

① ＬＰガス消費型蒸発器維持管理指針
② 差圧式液化石油スタンド設置及び点検等維持管理指針
③ バルク貯槽用安全弁の検査及び交換要領書
④ バルク貯槽及び附属機器の維持管理指針
⑤ ＬＰガスバルブメンテナンス要領書
⑥ タンクローリ関係のＪＬＰＡ基準

(2) ＬＰガス設備老朽化対策

①２０２２年度は、老朽化対策への基本スタンスの再構築のための意見交換を実施し、結果を取りまとめた。（老朽化対策の訴求先、対象設備・機器等の基本スタンスについて　等）

②２０２３年度に委員会での意見交換を踏まえて、老朽化対策取組の基本スタンスを構築する。

(3)ＷＧ活動

次のＷＧの開催頻度は都度としていたが、今年度からは委員間の情報交換を含めて概ね３ケ月毎に開催することとした。

①バルク供給ＷＧ

1) ２０２２年度バルク供給セミナー(2022 年 8 月 23～25 日開催)の演目について

＜演目及び講師＞

A. ＬＰガス保安行政の最新動向　(講師：METI ガス安全室　堀 氏)

B. バルク貯槽本体の維持管理について　(講師：神鋼機器工業㈱　山田 氏)

C. バルク貯槽附属機器の維持管理について　(講師：㈱ハマイ　榎本 氏)

D. バルク貯槽入替事例と課題について　(講師：㈱桂精機製作所　山川 氏)

☛B～D の演目をＷＧにて決定した。

2)「JLPA202-3 バルク貯槽基準(3000kg 未満)」の二次見直し実施

3)情報交換　　次のテーマについて意見交換を行った。

a) バルク貯槽特定設備検査合格証紛失時の返納方法について

b) バルク貯槽２０年検査に係るバルク告示が改正されたことへの対応について

②蒸発器ＷＧ

蒸発器ＷＧの活動目標は、「蒸発器の更新、蒸発器の老朽化対策をエンドユーザー及び販売事業者へ提案する。」とするが、一挙にはできないことから、２０２２年度は“２０年前のＪＬＰＡ基準の再確認を行う”から始めた。

具体的には“蒸発器の使用者の立場になり、維持管理に何が必要であるかを念頭におき、「JLPA211 蒸発器基準」、「JLPA213 圧力調整器基準」「LP ガス消費型蒸発器維持管理指針」の見直しを実施した。”

1)「JLPA211 蒸発器基準」の二次見直しを実施した。２０２３年度に最終校正とする。

2)「JLPA213 圧力調整器基準」は 2023 年度にＪＬＩＡ((一社)日本ｴﾙﾋﾟｰｶﾞｽ供給機器工業会)の調整器部会へ見直し協力依頼を行ったうえで最終校正とする。

(4)行政・業界活動について

経済産業省、高圧ガス保安協会、日本ＬＰガス団体協議会の委員会へ参画し、ＪＬＰＡからの提言、及び情報収集を行った。

① 経済産業省　　：　高圧ガス小委員会

② 高圧ガス保安協会　：　高圧ガス規格委員会、液化石油ガス規格委員会、移動容器規格委員会

③ 日本ＬＰガス団体協議会：　保安委員会

３．検査事業者委員会の活動報告

３－１．委員会活動の概要について

(1)当委員会への参画事業者

参画事業者：５０事業者。(2023 年 1 月現在)

(2)諮問会議の活動

ＪＬＰＡ理事の中で検査事業者に所属する理事で構成され、主として、委員会活動に係る指示及び活動状況の確認を行う。

(3)委員会(調整会議)活動

① 改正した委員会内規及び委員会ブロック会内規の現況を確認した。

② 検査技術者の技術向上に係る活動

1) ＪＬＰＡが開催する保安講習会(保安管理講習会、ＬＰガスバルク供給セミナー及び保安実務講習会)への受講推進を行った。

2) Ｃ種検査員意見交換会を開催(WGによる協議)した。

3) 検査員講習会(ＪＬＰＡ保安講習会資料を活用した講習)を開催(WGによる協議)した。

③ 保守検査時の不具合収集活動の新たな外部発信手段として活動した。

1) 製造事業者に向けた「不具合収集結果及び解説記事」のメール配信案内を行った。

2) 大規模事業所を有する会社に向け機関誌サンプルの送付と定期購読を案内した。

3) 不具合収集活動の業界新聞(５社)へ掲載に向け記者発表を行った。

(4)部会活動

当委員会には、タンクローリ検査部会と検査問題調査対策部会を設置されている。

① タンクローリ検査部会

主として、液化石油ガスタンクローリ認定検査事業者（ＫＴ）で構成されており、２０２２年現在１４事業者で活動している。

1) ＬＰガスタンクローリ事故防止委員会(ＫＨＫ保安技術部門 保安業務グループに事務局を置く)への委員(2 名)を派遣した。

2) 液化石油ガス保安法下で実施される、充てん設備(民生用バルクローリ)の保安検査方法を協議した。

② 検査問題調査対策部会

1) 保守検査時の不具合収集

毎年、製造事業所における保守検査時の不具合の収集結果及び解説記事をＪＬＰＡ機関誌「ＬＰガスプラント」(秋季号)に掲載している。検査・点検種類は、「貯槽精密（開放）検査)」、「製造施設の普通検査」及び「充てん設備、移動式製造設備の保守点検」の３種類です。２０２２年度からは、ＬＰガスタンクローリ再検査時の不具合収集を開始した。

2) 不具合収集に係る都道府県へのアンケート

不具合収集活動について、都道府県高圧ガス担当部署及び政令指定都市消防局へのアンケートを実施した。機関誌の発刊(10 月 20 日)にあわせて実施した。

3) 不具合収集活動の新たな外部発信について

不具合収集活動の新たな発信手段を協議し、検査事業者委員会に提案した。

詳細は、2.(3)③による。

(5)ＷＧ活動

① Ｃ種検査員意見交換会及び検査員講習に係るＷＧ

開催時期、開催方法及びテーマについて協議した。

４．非破壊試験技術者認証委員会の活動報告

４－１．非破壊試験技術者資格試験

(1)試験実施日

① 新規認証試験（２回／年）

試験種別	回 数	試 験 日	試 験 内 容
新規認証試験 新規認証再試験	１回	4 月 13 日(水)	実技試験
		14 日(木)	筆記試験(一般試験、専門試験)
	２回	10 月 19 日(水)	実技試験
		20 日(木)	筆記試験(一般試験、専門試験)

② 再認証試験（４回／年）

試験種別	回 数	試 験 日	試 験 内 容
再認証試験 再認証再試験	１回	4 月 13 日(水)	実技試験
	２回	7 月 14 日(木)	
	３回	10 月 19 日(水)	
	４回	2023 年 1 月 11 日(水)	

(2)試験結果

①新規認証試験

レベル1		実技試験パート			一般試験パート			専門試験パート			3科目同時合格		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
MY-1	新規	24	17	70.8%	24	10	41.7%	24	12	50.0%	24	7	29.2%
	再試①	1	1	100.0%	4	0	0.0%	8	4	50.0%			
	再試②	0	0	-	2	1	50.0%	4	2	50.0%			
PD-1	新規	25	20	80.0%	25	18	72.0%	25	20	80.0%	25	15	60.0%
	再試①	3	2	66.7%	6	1	16.7%	4	3	75.0%			
	再試②	0	0	-	1	0	0.0%	0	0	-			
UM-1	新規	27	25	92.6%	27	18	66.7%	27	17	63.0%	27	13	48.1%
	再試①	1	1	100.0%	16	10	62.5%	4	2	50.0%			
	再試②	0	0	-	5	4	80.0%	1	0	0.0%			

レベル2		実技試験パート			一般試験パート			専門試験パート			3科目同時合格		
		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
MY-2	新規	15	5	33.3%	15	3	20.0%	15	10	66.7%	15	1	6.7%
	再試①	4	2	50.0%	5	1	20.0%	0	0	-			
	再試②	1	0	0.0%	0	0	-	0	0	-			
PD-2	新規	19	10	52.6%	20	8	40.0%	20	12	60.0%	19	3	15.8%
	再試①	4	4	100.0%	8	5	62.5%	5	2	40.0%			
	再試②	2	1	50.0%	2	1	50.0%	1	1	100.0%			

②再認証試験

レベル１	再認証試験			再認証再試験（１回目）			再認証再試験（２回目）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
MY-1	10	9	90.0%	1	1	100.0%	0	0	-
PD-1	16	14	87.5%	1	1	100.0%	0	0	-
UM-1	17	17	100.0%	0	0	-	0	0	-

レベル２	再認証試験			再認証再試験（１回目）			再認証再試験（２回目）		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
MY-2	17	9	52.9%	7	5	71.4%	1	1	100.0%
PD-2	20	8	40.0%	13	8	61.5%	2	1	50.0%

(3)資格証明書発行数

※2022 年度資格証明書の発行数　（第 1～4 回審査委員会における発行数）

資　格　種　類		資格証明書発行年月日		
		2022 年	2023 年	
		10 月 1 日	4 月 1 日	10 月 1 日
レベル１	極間法磁気探傷試験（MY-1）	27	42	7
	溶剤除去性浸透探傷試験(PD-1)	26	39	13
	超音波厚さ測定(UM-1)	35	50	13
レベル２	極間法磁気探傷試験（MY-2）	3	21	2
	溶剤除去性浸透探傷試験(PD-2)	7	24	2

４－２．資格保持者数（2023 年 1 月末現在）

資格保持者数（人）	MY-1				PD-1				UM-1				MY-2				PD-2			
	発行数（枚）	資格内訳			発行数（枚）	資格内訳			発行数（枚）	資格内訳			発行数（枚）	資格内訳			発行数（枚）	資格内訳		
		新規	更新	再認証		新規	更新	再認証		新規	更新	再認証		新規	更新	再認証		新規	更新	再認証
598	413	75	243	95	429	104	232	93	508	94	293	121	145	34	68	43	177	51	68	58

Ⅲ．関係官庁他団体との協力及び提言

関係官庁、団体等に委員を派遣し、保安活動に協力した。

１．経済産業省関係

(1)産業保安グループ

①「産業構造審議会保安分科会高圧ガス小委員会」へオブザーバーを派遣した。

② 高圧ガス保安室主催の都道府県保安担当者向け「高圧ガス保安法研修」について、講師依頼があり、

(2)経済産業省全般

① 生産性向上特別措置法(2018 年 6 月施行)に基づく固定資産税の課税標準の特例に係る証明書の発行業務を行った。(2023 年 3 月 31 日まで)

２．高圧ガス保安協会（ＫＨＫ）関係

(1)高圧ガス保安協会の運営に対し、評議員として参画した。

(2)各委員会（高圧ガス規格委員会、液化石油ガス規格委員会、移動容器規格委員会技術委員会及び編集委員会）へ委員を派遣した。

(3) ＬＰガスバルク供給に関する専門委員会へ委員を派遣した。
(4) ＬＰガス安全委員会へ委員を派遣した。
(5) ＬＰガスタンクローリ事故防止委員会に対し委員を派遣し、取扱い点検要領書等の整備を行った。

３．日本ＬＰガス団体協議会関係

(1) 理事会及び各委員会（政策、需要開発、保安）へ委員を派遣した。

４．その他の団体関係

(1) 非破壊検査技術者資格の相互認証関係にある一般社団法人日本非破壊検査協会の諮問委員会、試験基準委員会へ委員を派遣した。
(2) 災害時に備えた社会的重要インフラへの自営的な燃料備蓄の推進事業補助金（石油ガス災害バルクの導入に係るもの）に関し、一般財団法人エルピーガス振興センターに対し、委員を派遣した。

Ⅳ．その他

１．高圧ガス保安に係わる当協会会員の受賞について

(1) 高圧ガス保安協会会長表彰　（敬称略）

①保安功績者

秋山　守	不二高圧株式会社
鮎川晴行	陽品ガスエンジニアリング株式会社
鈴木　栄	株式会社産業ガステクノサービス
武田恭一	岡山ガステクノサービス株式会社
三好正信	ガス保安検査株式会社
根木和輝	一般社団法人日本エルピーガスプラント協会

Ⅴ．総会及び理事会

１．定時総会

第１１回（通算第６１回）定時総会

新型コロナウイルス感染症の拡大対策として、少人数による開催及びＷｅｂ配信を実施した。

（審議事項）

【審議事項１】２０２１年度決算報告（案）
【審議事項２】任期途中における理事選任（案）

（報告事項）

（１）２０２１年度事業報告
（２）２０２２年度予算
（３）２０２２年度事業計画

表彰式

定時総会表彰

２．理事会

回数及び日時	主要決定事項
第４３回 2022年5月13日(水) 15:00～16:00 Ｗｅｂ会議	＜審議事項＞ (1)２０２１年度決算報告(案) (2)任期途中における 理事選任(案) (3)２０２１年度事業報告(案) (4)総会表彰受賞候補者(案) (5)第１１回定時総会議案書(案) (6)「職員就業規則」の一部改正について
第４４回 2022年5月30日(月) 15:15～15:30 Ｗｅｂ会議	＜審議事項＞ (1)副会長及び専務理事の選定(案)
第４５回 2022年11月17日(木) 16:00～17:00 Ｗｅｂ会議	＜審議事項＞ (1)２０２２年度上期実績報告及び下期見込(案) (2)２０２２年度上期事業報告及び下期計画(案)
第４６回 2023年3月9日(木) 15:00～16:00 Ｗｅｂ会議	＜審議事項＞ (1)２０２３年度事業計画(案) (2)２０２３年度収支予算(案) (3)正会員の入会について (4)２０２３年度・２０２４年度　理事･監事選任(案)について (5)定時総会の開催について (6)嘱託職員の再雇用契約の承認の件

以上